

## 第5回定期分会大会を開催！

8月25日、J R 東海労大阪修繕車両所分会は、「茨木市立男女共生センターローズWAM」において、第5回定期分会大会を開催しました。

当日は、激しい雨が降る中、多くの組合員・OB、来賓にご参加していただきました。大会は、石丸執行委員の司会で始まり、議長に内山組合員を選出し進められました。

主催者を代表して、乾分会長から『今、しっかりと憲法9条改正反対の声、戦争反対の声を上げなければ、知らぬ間に何も言えなくなってしまう』『今年の大河ドラマ「八重の桜」の会津っこ宣言「ならぬことはならぬのです」という会津精神ではありませんが、強い精神をみんなで持ち、仲間の強い絆と団結で、明るい明日を目指して困難をも明るく楽しく乗り越えていきましょう』とあいさつを行いました。そして、来賓の藤広本部副委員長からは『異常な労務管理によって、米原駅の21歳の社員が自らの命を絶つという痛ましい事態を招いています。働きやすい職場をつくるために、みんなで助け合い、体を大切にしてい闘いをつくり出していきます』と連帯のあいさつを頂きました。

その後、昨一年間の総括と向こう一年間の闘う運動方針（案）を提案し、満場一致で運動方針が採択され決定されました。



大会終了後は、三府すしで懇親会を行いました。

私たちJ R 東海労大阪修繕車両所分会は、住みやすい社会の実現に向けて、すべての闘う労働者と連帯し、職場から全組合員一丸となって、**反弹圧！反核！反リニア！憲法改悪反対！**の闘いを創り出していきます。

